

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2010年2月)

発表日2010年4月20日(火)

～前月大幅プラスの反動もあり2ヶ月ぶりの悪化～

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 エコノミスト 小杉 晃子  
TEL : 03-5221-4548

(単位:%)

		第3次産業活動指数												
		電気・ガス・熱供給・水道業		情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産・物品賃貸業	宿泊業・飲食サービス業	医療、福祉	生活関連サービス・娯楽業	学術研究・専門・技術サービス業		
		前期比	前年比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比		
08	4-6月	▲0.4	▲0.5	▲1.9	2.1	▲0.4	▲0.4	▲0.3	▲0.1	▲0.3	0.7	▲1.6	▲0.9	
	7-9月	▲0.9	▲1.2	▲0.1	▲1.0	▲1.4	▲1.2	▲1.1	▲0.6	▲0.6	0.4	0.1	▲1.7	
	10-12月	▲1.7	▲3.0	▲0.9	▲0.3	▲2.2	▲3.5	▲2.4	▲0.9	▲0.2	0.3	▲1.0	▲2.4	
09	1-3月	▲3.1	▲6.6	▲4.0	▲1.6	▲3.6	▲8.3	▲0.9	0.4	▲3.2	1.2	▲1.1	▲0.9	
	4-6月	▲0.6	▲6.1	▲0.5	2.7	▲0.4	▲2.8	1.2	▲0.3	0.1	1.1	▲0.3	▲1.2	
	7-9月	0.6	▲4.7	▲0.9	▲2.7	0.6	1.7	▲0.5	▲0.1	0.1	0.7	0.0	6.5	
	10-12月	▲3.3	▲3.4	3.1	1.9	0.6	0.0	0.5	▲0.2	0.1	0.3	▲1.3	▲4.1	
08	4月	0.2	0.5	0.1	4.2	▲0.3	0.2	0.5	0.2	▲0.6	0.3	▲0.9	1.0	
	5月	▲0.2	0.7	0.5	▲0.5	0.1	0.0	▲0.2	▲0.2	0.3	0.6	0.0	▲2.9	
	6月	▲0.6	▲1.2	▲1.8	▲0.3	▲0.9	▲1.0	0.6	0.0	0.0	▲0.3	▲1.1	▲0.7	
	7月	0.3	0.2	3.3	▲0.5	0.2	1.6	▲1.1	▲0.4	0.1	0.3	1.8	▲0.2	
	8月	▲0.9	▲2.8	▲4.2	0.6	▲2.0	▲2.6	▲0.1	0.0	▲1.0	▲0.2	▲1.8	0.1	
	9月	▲0.3	▲1.0	1.7	▲1.8	1.0	▲1.0	▲0.8	▲0.3	▲0.3	0.7	0.6	▲0.1	
	10月	0.0	▲1.6	0.4	1.0	▲0.5	0.2	▲0.4	▲0.5	▲0.1	▲0.1	▲1.5	▲0.5	
	11月	▲0.9	▲4.2	0.6	0.0	▲1.1	▲1.6	▲1.6	▲0.6	0.7	0.1	0.9	▲3.1	
	12月	▲1.7	▲3.3	▲3.8	▲0.8	▲2.9	▲3.5	▲0.9	0.6	0.2	▲0.3	0.5	0.4	
	09	1月	▲0.1	▲4.5	▲0.4	0.7	▲0.9	0.1	▲0.4	0.6	▲3.3	1.4	▲1.5	0.3
		2月	▲0.7	▲7.4	▲1.6	▲0.2	▲0.4	▲5.2	0.9	▲0.5	▲0.6	▲0.2	0.3	▲1.6
		3月	▲3.4	▲7.7	▲0.5	▲5.1	▲0.3	▲6.9	0.1	▲0.2	0.7	0.5	▲1.4	1.7
4月		2.0	▲6.2	▲0.2	6.0	▲0.2	3.1	0.8	0.0	0.0	0.8	0.9	▲1.1	
5月		▲0.2	▲7.1	1.3	2.0	0.2	1.4	▲0.2	0.1	0.6	▲0.3	▲0.5	▲2.5	
6月		0.2	▲5.1	▲0.9	▲2.4	0.0	0.0	0.5	▲0.1	▲1.7	0.5	0.0	3.3	
7月		0.5	▲5.3	▲0.3	0.2	0.4	1.2	▲1.3	▲0.3	1.3	0.2	0.0	0.0	
8月		0.2	▲4.1	▲0.9	▲0.7	0.0	0.1	1.2	0.2	▲1.4	0.6	0.3	7.4	
9月		▲0.3	▲4.7	0.6	▲4.5	0.4	▲0.2	▲0.9	0.1	2.0	0.1	0.0	0.8	
10月		0.2	▲4.4	1.9	5.5	0.4	0.7	0.3	▲0.2	0.0	▲0.1	▲1.5	▲5.0	
11月		▲0.2	▲3.0	1.4	▲0.1	0.0	▲0.4	0.0	▲0.1	▲2.0	0.3	▲0.1	▲1.0	
12月		▲0.7	▲2.7	0.4	▲0.1	▲0.2	▲0.9	1.2	▲0.2	1.7	▲0.4	0.4	▲3.9	
10	1月	2.5	▲0.5	2.4	2.5	0.6	5.1	1.9	0.2	0.0	0.6	0.1	3.3	
	2月	▲0.2	0.4	0.8	▲0.9	0.7	▲3.1	▲1.9	▲0.6	0.1	0.6	▲1.3	▲0.3	

(出所)経済産業省「第3次産業活動指数」

## ○第3次産業活動指数：前月比▲0.2%

2月の第3次産業活動指数は前月比▲0.2%と、コンセンサス(同:▲1.0%、レンジ:同▲1.8%~▲0.2%)を上回るも、2ヶ月ぶりに悪化した。前月大幅に上昇した反動の影響もあり単月ではマイナスとなったが、1-2月平均の10-12月期比は+1.8%と、10-12月期の前期比▲0.3%から再びプラスに転じている。輸出・生産の回復や企業収益の持ち直しなどを背景に第3次産業活動指数は緩やかな持ち直し傾向にあるといえよう。

主要13業種のうち、プラスに寄与した業種は運輸業、郵便業(前月比寄与度+0.06%ポイント)、医療、福祉(同+0.06%ポイント)、電気・ガス・熱供給・水道業(同+0.03%ポイント)、宿泊業、飲食サービス業(同+0.01%ポイント)の4業種、マイナスに寄与した業種は卸売業、小売業(同▲0.78%ポイント)、金融業、保険業(同▲0.19%ポイント)、情報通信業(同▲0.10%ポイント)、生活関連サービス業、娯楽業(同▲0.07%ポイント)、不動産業、物品賃貸業(同▲0.06%ポイント)などの9業種であった。

## ○家計部門は横ばい、企業部門は悪化

第3次産業活動指数のうち、それぞれ家計と企業の活動に関連が深い業種を取り出してみると、家計部門<sup>1</sup>が

<sup>1</sup> 映像・音声・文字情報制作、旅客運送業、小売業、不動産取引業、住宅賃貸業、飲食サービス・宿泊業、医療・福祉、学習

前月比0.0%、企業部門<sup>2</sup>が同▲2.5%であった。家計部門は、高齢化などに伴い医療、福祉は堅調な推移が続く一方で、厳しい雇用・所得環境の持続による消費者の節約志向の高まりやマンション市場の低迷などを受けて生活関連サービス、娯楽業や不動産取引業などがマイナスに寄与した結果、全体では横ばいとなった。

他方、企業部門は、中華圏の旧正月の影響による輸出の減少などを背景に卸売業が前月比マイナスとなったことなどから、全体では2ヶ月ぶりのマイナスとなった。

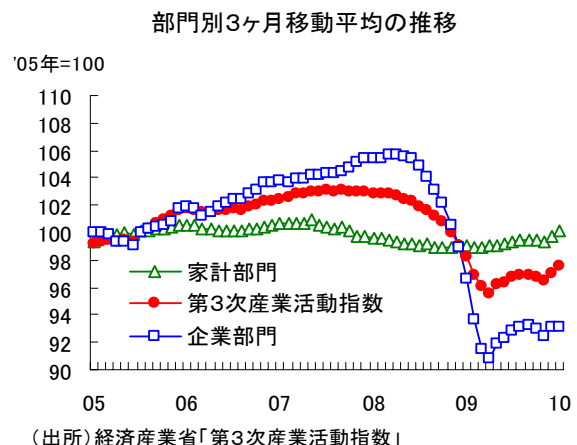
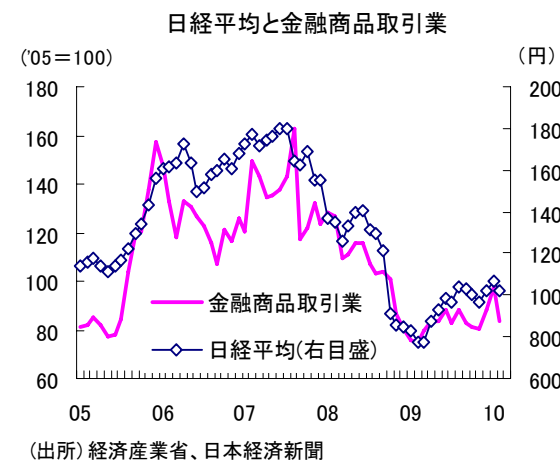
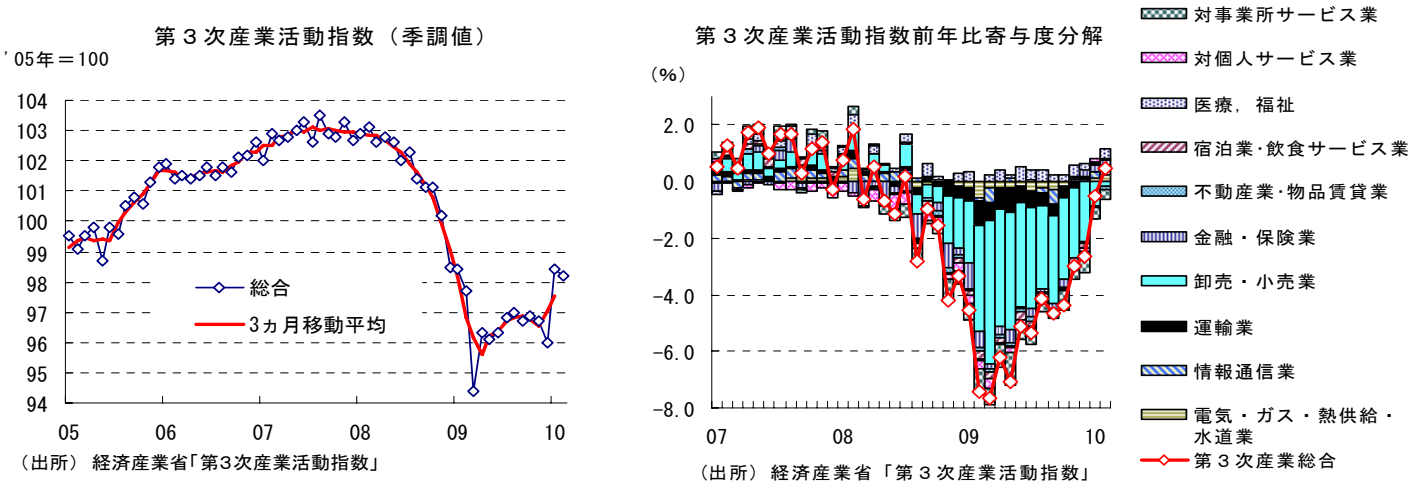
そのほか、2月は金融業が前月比マイナスとなった。海外市場環境の不安感の高まりなどによる株価の下落などを受けて、金融商品取引業などの活動が低下したことが背景にあると考えられる。

### ○先行き企業部門の回復を主因として当面、緩やかな持ち直しが続く見通し

第3次産業活動指数の先行きを展望すると、家計部門に関しては、雇用・所得環境が最悪期を脱しており、それに伴って消費者マインドも改善傾向にあるものの、今後も雇用・所得環境の回復ペースは緩やかなものに留まる可能性が高いことに加え、政策効果に一巡感が始まっていることなどを考慮すると、回復力に乏しい動きが続くと思われる。

他方、企業部門は、①輸出や生産の回復により物流関連業種は引き続き持ち直しが続くと思込まれること、②設備投資が持ち直しつつあることや企業収益の持ち直しを受けて、サービス部門業種も緩やかに持ち直していくと予想されること、などから、当面、緩やかな回復が続くだろう。

以上を踏まえると、先行き第3次産業活動指数は、企業部門の回復を主因として、当面、緩やかな持ち直しが続くと思込まれる。



支援業、生活関連サービス・娯楽業

<sup>2</sup> 情報サービス業、貨物運送業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業、卸売業、貸事務所業、物品賃貸業、自動車賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業